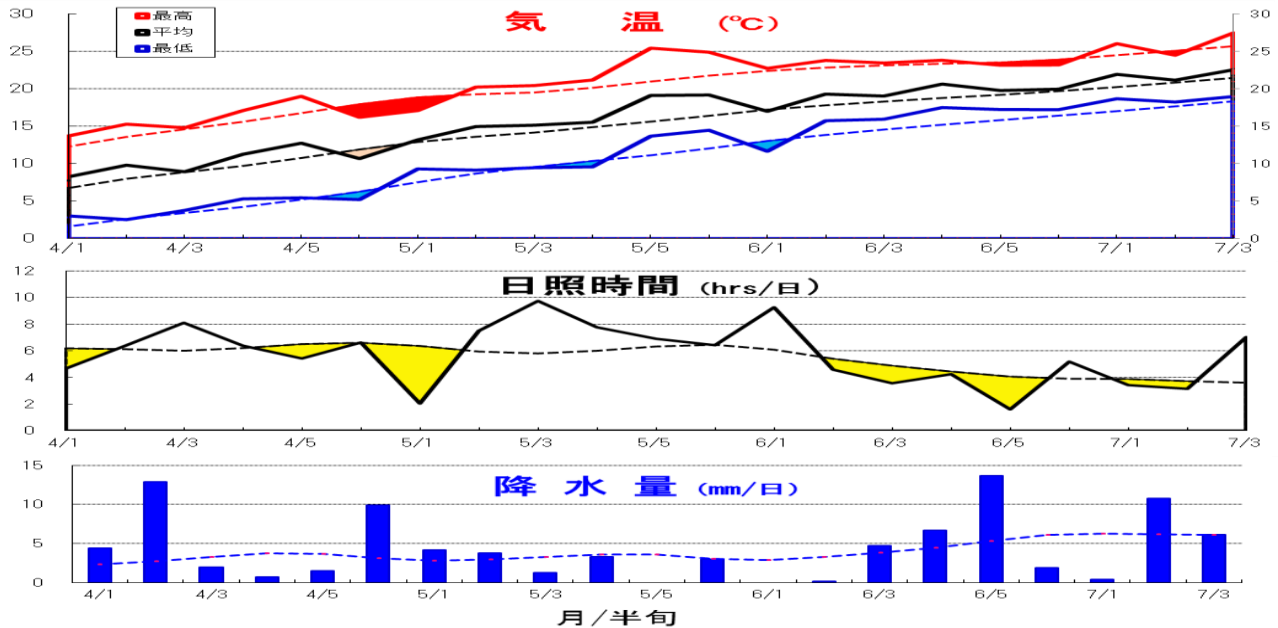


～冷害の危険あり，万全の備えを！！深水管理で幼穂保護を～

## 1 気象経過



- ・6月から7月中旬までの気温は，ほぼ平年並み～やや高温に経過している。
- ・6月から7月中旬までの日照時間は，第1半旬が多照であったが，その後やや少照傾向である。
- ・降水量は，上旬までは少雨傾向で，それ以降は断続的に降雨があり，やや多雨となっている。

「低温に関する異常天候早期警戒情報」(東北地方)7月14日 仙台管区气象台  
 ◆7月19日頃からの約1週間 かなりの低温(平年差-3.2°C以下)確率30%以上  
 ◆なお、東北地方では、今後1週目から2週目にかけて気温の低い状態が続く見込み

## 2 生育状況

[7月11日現在]

- ・幼穂長の県内平均は 3.7mm (平年 差+1.5mm) で幼穂形成期は7月7日頃，7月中旬では，ほとんどの圃場で10mm程度と思われる。
- ・稲の生育期間で**最も重要な減数分裂期は，7月17～22日頃**である。
- ・平年より2日程度生育は早く，出穂期は，8月2日頃になる見込みである。
- ・草丈は，62.6 cm(平年比 103%)，1㎡当たり茎数が 526 本(平年比 94%)，葉数が 10.9 枚(平年比+0.1)であった。
- ・ほとんどの圃場は，中干をほぼ終了しているが，断続的な降雨により，中干が十分にできなかったところも見られる。
- ・葉色は，平年に比べてやや濃い圃場が多い。

品種別生育状況(7月11日現在, 県生育調査圃)

県全体

県全体	草丈			茎数			葉数			葉緑素計(GM)値			幼穂長(mm)		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m <sup>2</sup> )	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
	62.6	106	103	526	96	94	10.9	0.1	0.1	38.8	1.8	1.1	3.7	0.2	1.5

品種別

品種別	草丈			茎数			葉数			葉緑素計(GM)値			幼穂長(mm)		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m <sup>2</sup> )	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
ひとめぼれ	62.1	104	103	494	93	91	10.9	0.1	0.2	38.7	1.1	0.6	4.4	0.3	1.7
ササニシキ	62.7	110	106	608	103	100	10.9	0.3	0.1	38.0	2.5	1.4	1.8	▲0.1	0.7

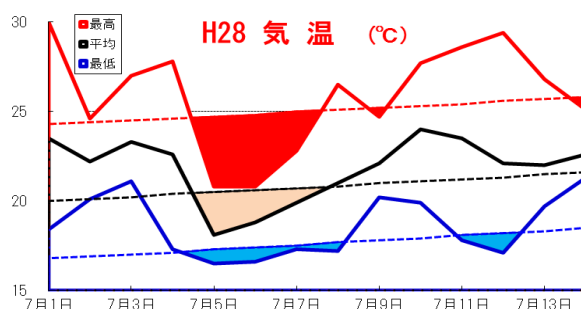
### 3 今後の管理

#### (1) 低温時の深水管理

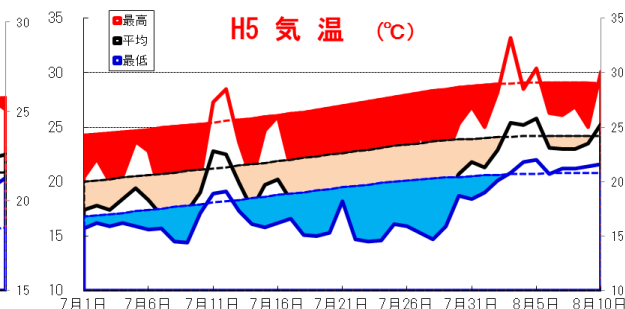
平均気温 20℃以下または最低気温 17℃以下が懸念されるので, その場合は, 幼穂を保護するため深水管理(20cm 以上が望ましい)を徹底する。

各圃場で幼穂の長さ等(減数分裂期幼穂長 3~12cm)を確認して深水管理ができるよう, 水の確保に万全を期す。

平成 28 年 7 月 10 日~現在の気温



参考: 平成 5 年 7 月 1 日~8 月 10 日の気象



#### (2) いもち病に注意

- ・病虫害防除所の感染好適日が HP に掲載されるので常に注視する。
- ・適度な温度と湿度があれば, いもちは一気に発生するので水田の見回りを密にする。
- ・ほ場をよく観察し, 葉いもちの発生が確認された場合は直ちに茎葉散布剤で防除する。
- ・減分期追肥の時期であるが, 追肥と防除はセットとして実施する。

【いもちの発病: 平均気温が 20~25℃, 曇りや雨の日が多いことが好適】

日付	駒ノ湯	気仙沼	川渡	築館	米山	志津川	古川	桃生	大衡	鹿島台	東松島	石巻	女川	新川	塩釜	江ノ島	仙台	名取	白石	蔵王	亘理	丸森
7/9	○	○	○	○	●	○	●	●	●	●	●	●	○	○	●	○	●	—	△	○	●	●
7/10	—	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/14	—	●	●	●	●	●	—	●	●	—	●	●	●	●	●	—	●	●	—	●	—	—

●感染好適条件 ○準感染好適条件

#### (3) 斑点米カメムシ類の防除

- ・発生は平年並みと予想されるが, 斑点米による等級低下を防止するため, 本田周辺の牧草地等の草刈りは水稻の出穂 10 日前までに終える。